

高齢社会と認知症

— 毎年9月21日は世界アルツハイマーデーです —

世界的に例をみないスピードで高齢化が進む日本。平成27年には、4人に1人が65歳以上になると言われています。私たちが住む日光市も例外ではありません。

また、加齢とともに認知症が発症しやすくなり、患者数は年々増え続けています。

もしあなたの家族が認知症になったら…

市の現状と認知症について、一緒に考えてみましょう。



第1章 知って支える

認知症とは…

人は年を重ねるに伴って全身機能が低下し、それまでの生活習慣を基盤とした疾患が生じやすくなります。中でも、加齢とともに発症しやすくなる病気に認知症があります。認知症は脳の病気で、誰もが年を重ねることで発症しやすい病気なのです。

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が死んだり、働きが悪化したりしたために障がいが起こり、従来の生活ができなくなる病気です。もし、身近な人が認知症になってしまったら何ができるのかを考えるため、認知症について正しく理解しましょう。

その数、462万人

厚生労働省は、平成24年現在の65歳以上の高齢者のうち、推計15%に当たる462万人が認知症であると発表しました。有病率は74歳までは10%以下ですが、85歳以上では40%を超えるということも発表されています。

市の認知症患者数(要介護II(要支援)認定者における認知症自立度II以上)は、3月31日現在で2,032人です。しかし、診断を受けていない人もいるため、実際の有病者数はさらに多いものと考えられます。早期発見・治療につなげるためにも、認知症の症状を確認してみましょう。

表：老化による物忘れと認知症による物忘れの違い

老化による物忘れ	認知症による物忘れ
体験の一部を忘れる (例)朝食のメニューが思い出せない	体験の全部を忘れる (例)朝食は食べていないと思えない
物忘れの自覚がある ヒントがあれば人や物の名前を思い出せる	物忘れの自覚がない ヒントがあっても思い出せない
場所や時間を理解している (例)自分が自宅にいることを理解している	場所や時間が分からない (例)自宅にいるのに家に帰ろうとする
日常生活に支障がない 日常生活で、見守りや介護の必要がない	日常生活に支障が出る 日常生活で、見守りや介護が必要

認知症の症状

認知症の症状でよく言われるのが物忘れです。物忘れには老化によるものもあるため、区別が必要です。

また、認知症は、早期発見・診断・治療が有効です。本人の訴えとして、「本調子ではない、何かおかしい」などといったものが多くあります。このような状態が続いた後、「何度も同じことを言ったり聞いたりする」、「物の置き場所を忘れる」などの症状が現れるようになり、家族などからの相談に至ります。

医師に聞く



新沢敏章先生 (認知症サポート医)

認知症は、本人に責任のない気の毒な病気です。自分が病気だという認識がほとんど無く、間違っただけをしているという感覚もありません。

認知症の人の問題行為に対して、注意や叱責をすることは百害あって一利なしです。問題行為を容認し、本人に寄り添えば穏やかに暮らせますが、その反対であれば暴力的、攻撃的になります。認知症の人は、見聞きしたことなどはすぐ忘れますが、嫌なことは残像のように心に残るからです。本人は病気と思っていないので、周囲が早く気付くことが大切です。行動異常などの症状が現れたら早期受診しましょう。

また、認知症であっても全てができなくなった訳ではありません。できることは多少失敗があってもやってもらったり、一緒にしたりするなど、本人の仕事を奪わないでください。生きがいのある人生とは、自分が世の中に少しでも役立っているということが実感できることだと思います。

解説 認知症サポート医…認知症に関わる地域医療体制の中核的な役割を担う医師

認知症に関する相談は、年々増えています。下のチェックリストに当てはまる点や気になる点があったら、まずはかかりつけの医師や地域包括支援センターにご相談ください。

また、病院受診の際は、次の情報をまとめておきましょう。

- ① 発症時期と症状
- ② 頻度(毎日か、時々か)
- ③ 現在の困っている症状
- ④ 今までにかかった病気
- ⑤ 飲んでいる薬(処方箋を持参)

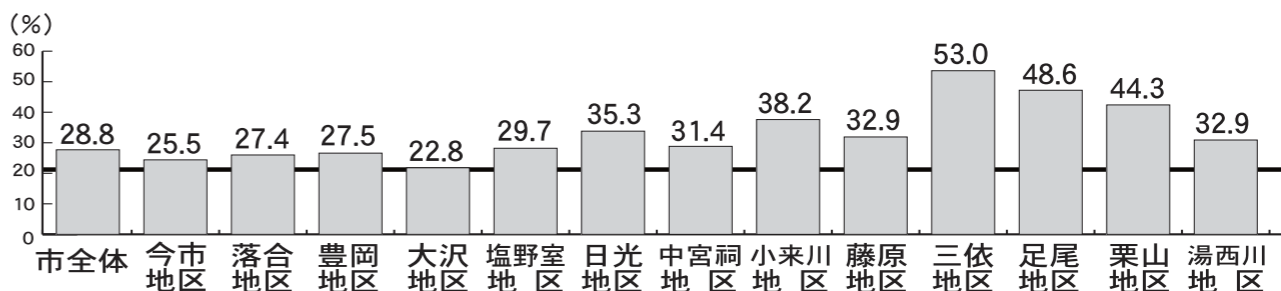
CHECK

早期発見チェックリスト

- 同じことを何度も言う、聞く
- 物の名前が出てこない
- しまい忘れや置き忘れが増えた
- いつも探し物をしている
- 財布や通帳などが盗まれたと言う
- 日課が変わった
- 家事や運転などのミスが増えた
- 話のつじつまが合わない
- ささいなことでも怒りっぽくなった
- 「頭が変になった」などという
- 薬を飲み忘れる
- 服装がだらしくなった

市の地区別高齢化率(4月1日現在)

市全体の高齢化率は27.2%で、およそ3人に1人が高齢者という現状です。また、全ての地区が全人口における65歳以上の占める割合が21%以上の超高齢社会です。



※地区名は、「日光市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」で定められている日常生活圏の表記に基づく

超高齢社会

高齢社会